



○有意義な進路講演会でした

2学年では、2月8日（火）に進路講演会を行いました。講演のタイトルは『未来をイメージして志を立てよう』でした。講師をしてくださったのは、元城西中学校校長・元太田市中体連会長・現在は群馬総合カレッジ太田工科専門学校にお勤めの「阿部 正先生」でした。阿部先生は、以前に太田市スポーツ振興課プロスポーツ支援係としてプロバスケ部リーグのクレインサンダースの活動などにも携わっていらっしゃいました。（講演中には、前に出て協力した生徒にサンダースのタオルをプレゼントして下さいました！）

講演の内容は、「脳の発達（重さ）は15歳で完成されること、これから15歳になろうとしている生徒たちが志を立てることの重要性、志の立て方」でした。様々な偉人のメッセージや科学的根拠、野球選手の大谷翔平さんが16歳（花巻東高校1年生）の時に作成したマンガラートシートなどを例にして、とてもわかりやすい内容でした。講演後には、質問の時間もありました。阿部先生は、どんな質問にも的確にご自身の体験も交えながら答えて下さり、楽しく有意義な講演会でした。生徒たちは、しっかりと話を聞いて、多くのことを吸収することができました。今年度は職場体験が中止となってしまいましたが、この機会に社会で活躍する方のお話を聞き、今後の自分の進路に生かせる経験になったと思います。

【質疑応答の内容を紹介します】

◆私はまだ将来の夢がはっきり決まっていません。どのように決めたらいいのですか。

⇒人と比べないことです。自分軸で考えるといいですよ。

◆目標は高い方がいいのですか。

⇒高さより目標を持つこと自体が大切。自己分析をして小さな目標から立てていってもいいですよ。

◆自分に自信がありません。道がずれて行ってしまったらどうしたらいいのですか。

⇒やってみてずれたら変更すればいい。人生どこで成功するかわからない。いつか成功すればいい。

あなたなら大丈夫。前へ進んで下さい。自信を持ってください。

◆先生はどのように目標を持ったのですか。

⇒中学生の時、体育の先生が怖かったけど好きで憧れていた。高校生の時は高校野球で甲子園に行きたかったし、大学生の時も野球関係の仕事に就きたいと思っていたが、やりたいことが変わって最終的に体育の先生になった。中学生の時に何となく思っていたことが実現した。だから、今は何となく考えているだけでもよいと思う。

◆なりたいものが多数ある場合、どう絞ればいいのですか。

⇒トライアングルシート（目標達成のためのワークシート）を作ってみて、書く内容に広がりがあったものが残るのではないのでしょうか。

◆夢を周りの人（家族）から反対された場合、どうしたらいいのですか。

⇒親は子どもが心配だから反対するもの。でも子どもが幸せならそれでいい。自分の足で生きていくのが1番。挫折したら変えればいい。1度きりの人生。命は大事。心を燃やして輝いてほしい。

◆先生が1番大切にしていることは何ですか。

⇒『仁』です。人が二人と書くので「思いやり」と解釈する。人のためにやっていることが、自分に返ってくる。「利己」より「利他」を大切に。自分より他人を大切にしていると誰かが背中を押してくれる。

【お礼の言葉】

先生のお話を聞き、人のまねをしないで自分のオリジナリティーを持つことが大切だということがわかりました。また、目標を見えるようにして広がりを持つことで目標が可視化されることを知りました。今、青年期である私たちが志を立てることに大きな意義があることがわかりました。「限界値を自分で決めないこと」や「歩みを止めないこと」が特に印象に残りました。志を持って行動することを実践していき、私たち一人ひとりが自分に合った進路を見つけていきたいと思います。ありがとうございました。（生徒会長）

【感想より】

○僕は進路が決まっていなくて焦っていたけど、「人と比べない」ということを聞いて、まだ深く考えすぎなくて良いと気が軽くなりました。

○私はやりたいことがあるのにもかかわらず、自信がなく、あきらめていることも多かったのですが、マンダラートシートのことを聞いて、志を高めるためにもやってみたいと思いました。先生のような意見を聞き、少し自信を得ることができました。

○まずは、部活動に関するトライアングルシートを作ってみようと思いました。

○「未来をイメージする」ことが大切と言っていたので、これからの学校生活でそれを意識して進んでいきたいと思った。

○「仁」を大切にしたいです。自分はイライラしているとき、人に当たってしまったり迷惑をかけてしまったりしてします。だから、相手のことを考えて行動し、友達が悩んでいる時はすぐ相談に乗ってあげたいです。（自分はストレスがたまりやすいので自分が疲れない程度に。）

○「仁」という言葉の意味や思いを自分も大切にし、どんな時も家族や友、それ以外の人や動物、またはこの先、生きていく中で出会う人たちのために役立てるような人間になりたいと思いました。

○進路について、親に言われて、言われた道を通らないといけいないのか…と考えていたけれど、これからは自分で自分の道を考えます。親が自分たち子どもの進路をどれだけ心配しているのか改めて感じることができました。

○これからは「本来無一物、無尽蔵」という言葉を大切にしていきたいと思いました。なぜなら「無限の可能性が一人一人にある」とわかったからです。いろいろなことにチャレンジしていきたいです。

○私たちは、なににでもなれる無尽蔵であるという話が印象に残りました。なににでもなれるが、まねはいけいない、自分の行動に責任を持つことを頭において、なににでもなってみよう、チャレンジしてみようと思いました。他人の可能性も自分の可能性も疑わず、将来を決めていきたいです。

○これから自分の人生を歩んでいくようになったら、興味を持ったことややってみたいことは、頭で考えるだけでなく挑戦していこうと思う。

○自分は大きな目標を立てるのは苦手なので、小さな目標を丁寧に少しずつやっていき、いずれは大きな目標にいき、成功を収められるよう、勉学と部活両方を少しずつ努力して上達していきたい。

○今からだいたい目標を持ち、目標を少しずつ上げていくようにしたいです。自分に自信を持って、日常生活で夢が見つけれられるようにしたいです。

○この時期に将来のイメージがおおよそつかめるようにマンダラートシートをいくつか作り、小さな目標から大きな目標へと順々に立てていき、「志」を強く持っていきたいです。

○今後、たくさんの目標ができると思いますが、目標を見える位置に置いて常に意識できるようにしたいです。

○未来をイメージすることが大切だから、高校選びでも将来の夢により近づけるところに進学したいと思いました。自分の志を大切にし、相手の志は尊重できるようになりたいです。

○自分の行動で、未来は変わっていくんだと思った。自分のためだけでなく、周りの人のためにも動く。

○私はマイナス思考になってしまってもクヨクヨしないで生活していきたいです。阿部先生が言っていたように夢はいくつあってもいい、いつ変わってもいいと思うので、前向きにプラス思考でいきたいです。

○周りの意見などと比較せず、自分の信じた道や目標を曲げずに、人生は楽しむことだと学びました。自分がやったことは自分に返ってくるので、気づいたらすぐ行動できる学校生活を過ごしたいです。

○人生は1度きりだし、なんでもかんでも決められた人生じゃつまらないので、私は自分がやりたいことを思うがままにやっていきたいです。そして真っ白なキャンパスをカラフルにできたらいいなと思います。